



どせい わ なん 土星の輪は何なの

わ 輪は7つの部分に分かれている

1610年に、ガリレオ・ガリレイは、土星に耳のように見えるものを観察しました。その後、1655年に、ホイヘンスはその耳が、輪であることを確認したのです。その後、長い間輪は、1枚の固い円ばんだと考えられていました。

しかし、1785年に、ラプラスは、もしも、輪が1枚の円ばんだとしたら、土星の重力（物体を引きつける力）と円ばんの遠心力（円の中心から遠ざかるうとする力）でこわれてしまうので、たくさんの輪の集まりではないか、と考えました。

最近、アメリカのボイジャーという探査ロケットが、土星に近づいて、たくさんの写真を撮りました。その写真を見ると、土星の輪には、レコードのみぞのような筋がたくさんあり、輪が7つの部分に分かれていることがわかりました。

ゆき こおり かた 雪や氷の固まりからできている

輪の厚さは、数十から数百メートルぐらいで、すけて見えるくらいにうすく、たくさんの雪や、氷の固まりからできています。

輪は土星の回転と同じ方向に回転し、その近くには、小さな月のような星がいくつも、発見されています。（監修・国司 真）

